

徳山市 新南陽市 熊毛町 鹿野町

# 合併協議会つうしん

VOL.1  
2002.7

発行／徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町合併協議会 編集／合併協議会事務局  
徳山市代々木通一丁目2番地 TEL (0834) 22-8245 FAX (0834) 22-8246  
E-mail:shunan-gp@mx5.tiki.ne.jp ホームページ <http://ww5.tiki.ne.jp/~shunan-gp>



## “中核都市づくりへの第一歩” 合併に向けた協議が始まる

徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町合併協議会が6月1日に設置され、来年4月21日を期日とする2市2町の合併に向けた、具体的な協議が開始されました。

◆◆◆ごあいさつ◆◆◆

会長 河村 和 登

21世紀の幕開けから1年半が経過いたしました。社会経済情勢は依然として厳しい状況が続くなか、小泉内閣のもとで、抜本的な構造改革が進められつつあります。なかでも国と地方との関係を見直す地方分権改革において、地方自治体は、重要な時代の転換期を迎えております。

こうしたなか、本周南地域では、いち早く時代の潮流をとらえ、広域合併による中核都市づくりをめざし、およそ10年前から合併協議を進めてまいりました。

とりわけ、徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町の2市2町においては、これまで下松市とともに合併協議会を設置し、概ね3年の合併協議を行い、すべての協議を終了したところではありますが、残念ながら現下では3市2町の合併が事実上、困難な状況となっております。

しかしながら、2市2町にあつては、中核都市づくりに向けた基本姿勢は不変であり、合併は避けて通ることのでき

ない大切な課題と共通認識しており、一刻も早い実現を望んでいるところでございます。

こうしたことから、本協議会の設置に際しては、各市町の首長、議長、民間の代表者からなる2市2町合併協議会設立会議を設置し、合併に向けた各市町間の強い意志を確認し合うなかで、この2市2町は、将来的には下松市、ひいては光市、大和町をも含めた周南全域での合併をめざすとの共通理解を図り、中核都市づくりへの第一歩を踏み出すべく、先行合併を行うとの位置づけを申し合わせたものであります。

なお、この2市2町の合併協議会は、合併を前提とした合併をするための協議会であり、相互の意見を尊重しあい、明るく、和やかなムードのなかで、円滑な協議ができればと願っております。私共議長としてその方向で進めさせていただこうと思っております。

(第一回協議会時の会長あいさつ―抜粋・要約―)

第1回  
合併協議会

2002.6.8

報告事項2件の後、議案13件について、協議調整が行われました。

本合併協議会は、3市2町の協議調整方針を最大限尊重することを基本方針とするなど会議の運営方針が決定されたほか、「合併の期日」「新市の名称」など合併協定項目の6議案について原案どおり決定されました。

報  
告  
事

## ■合併協議会規約

2市2町合併協議会の規約について、報告がありました。

合併協議会は、地方自治法と市町村の合併の特例に関する法律に基づき設置されるもので、

(甲) 2市2町の合併の協議

(イ) 新市建設計画の作成

(ウ) 2市2町の合併に関し必要な事項

を協議することを任務としています。

## 合併協議会名簿

会 長		河 村 和 登			
副 会 長		吉 村 徳 昌 大 岡 林 久 充 熊			
議 員	徳 山 市	田 倉 藤 和 吉	村 住 井 田 平	勇 康 明 龍	一 栄 弘 信 司
		兼 渡 宮 中 福	重 辺 崎 村 田	輝 秀 文	元 明 進 昭 治
	熊 毛 町	上 松 児 田 中	田 永 玉 中 井	正 研 泰	悟 之 一 典 求
		鹿 野 町	石 宗 一 青 林	川 東 原 木	光 博 英 孝 重
学 識 経 験 者	徳 山 市	清 山 末 黒	永 下 次 神	一 波 留 雅 公	彦 子 文 直
		志 今 藤 三	賀 井 村 浦	武 和 周 義	男 代 介 孝
	熊 毛 町	徳 角 村 田	本 田 川 崎	美 彌 哲 義	豊 子 夫 雄
		鹿 野 町	福 兼 原 廣	田 石 田 本	孝 慧 武
行 政	徳 山 市	岡 西 村	田 村	上 宗	実 一 士 道
		新 南 陽 市	住 津	田 田	孝 敬
	熊 毛 町	吉 土	松 井	公	達 正
		鹿 野 町	松 福 片 林	本 田 山	一 雅 東
監 査 委 員	徳 山 市	松 福 片 林	本 田 山	一 雅 東	達 正 陽 正
	新 南 陽 市	福 片 林	田 山	雅 東	正 陽 正
	熊 毛 町	片 林	山	東	陽 正
	鹿 野 町	林		繁	正

(敬称略)

## ■2市2町の長の協議書

合併協議会規約に基づく2市2町の長の協議が行われ、「会長は、徳山市長とする」ほか委員数や事務所の位置など、8項目について報告がありました。

## 議 案

## ■小委員会規程

(協議会から付託された事項を調査、審議します。)

## ■幹事会規程

(協議会に提案する事項について協議、調整します。)

## ■専門部会規程

(協議会が担任する事務について、専門的に協議、調整します。)

## ■合併協議会の運営方針

3市2町合併協議会の運営方針並びに協議調整方針を最大限に尊重することを基本方針とし、次のとおり承認されました。

## ◇協議会は、公開とします。

◇協議会の会議録は、全文筆記とし、会議資料、会議録は公開とします。

◇会議の決定方法は、大方の賛同をもって決定します。

◇平成14年度事業計画

「新市建設計画の作成、住民サービスや負担に関する取扱い等、合併協定項目に基づく協議・調整を行い、合併の実現を図る」とする事業目標と次の事業内容が承認されました。

◇協議会、幹事会等の開催

◇新市建設計画の作成

◇協議会だより等の発行

◇ホームページの開設

◇合併協定書の調印

◇先進都市への視察調査

◇国、県との連絡調整他、必要な事業を適宜実施

《委員からの主な意見等》

●合併に関する情報提供について、住民の方が身近に感じられるような紙面づくりやPR

## 方法に取り組んで欲しい。

Q・新市建設計画は、いつごろ提案できるか。

A・できるだけ早く作成し、でき次第、協議会に提案したい。

■平成14年度予算

平成14年度事業計画を実施するため、総額31,565千円の予算が承認されました。

■合併協定項目

2市2町の合併に関する具体的な協議項目として、22項目が決定されました。(3頁表1を参照)

《委員からの主な意見等》

●合併後の各地域のコミュニティを大切にし、地域の特徴を生かすといった観点からも地域審議会を設置して欲しい。

●新市建設計画の事業で重複投資がないよう十分な検討が必要である。

●熊毛町の水道事業を新市建設計画にしっかりと位置づけたらどうか。

## ■合併の方式

合併の方式は、2市2町を廃して1つの新しい市を設置する、「新設合併」と決定されました。

■合併の期日

合併の期日は、「平成15年4月21日」と決定されました。

《委員からの主な意見等》

●平成15年4月21日の合併を前提とした協議会であり、各市町議会の議決を経て協議会を設置している。原案に賛成する。

●新たな枠組みのなかで、再度協議が必要ではないか。

■新市の名称

新市の名称は、「周南市」と決定されました。

■新市の事務所の位置

「合併時の新市の事務所の位置は、徳山市役所とする」と決定されました。

■条例、規則等の取扱い

新市の条例、規則等の整備方

表1. 合併協定項目と協議状況（第2回合併協議会までの経過）

● 1 合併の方式	● 2 合併の期日
● 3 新市の名称	● 4 新市の事務所の位置
○ 5 財産及び公の施設の取扱い	● 6 議会議員の定数及び任期の取扱い
● 7 農業委員会委員の定数及び任期等の取扱い	○ 8 地方税の取扱い
● 9 一般職の職員の身分の取扱い	● 10 特別職の職員の身分の取扱い
● 11 条例、規則等の取扱い	○ 12 組織及び機構
○ 13 一部事務組合等の取扱い	○ 14 使用料・手数料の取扱い
● 15 公共的団体等の取扱い	○ 16 補助金、交付金等の取扱い
● 17 町・字名の取扱い	● 18 慣行の取扱い
○ 19 国民健康保険制度の取扱い	● 20 地域審議会
21 その他住民負担・行政サービスにかかる各種制度の取扱い	
●(1) 電算の管理運営    ○(2) 都市計画・建設事業    ○(3) 水道事業 ○(4) 消防・防災事業    ○(5) 環境衛生、環境保全事業    ○(6) 教育事業 ○(7) 保健・福祉事業    ○(8) 介護保険制度    ○(9) 広報・公聴事業 ○(10) 情報公開制度    ○(11) 同和対策事業    ○(12) 交通安全対策事業 ○(13) 国際交流等事業    ○(14) 表彰制度	
○ 22 新市建設計画	

● 決定項目＝14項目    ○ 未協議の項目＝21項目

針について、次のとおり決定されました。

(1) 合併協議会で協議調整された各種事務事業に関する条例、規則等については、それぞれの調整方針に従って整理する。

(2) 同一又は1団体のみが制定している条例、規則等については、原則として現行の例によるものとする。

(3) 類似、相違又は数団体に制定されている条例、規則等については、いずれかを基

本に調整統一する。

(4) 条例、規則等の制定にあたっては、新市における事務事業に支障をきたさぬよう次の区分により整備するものとする。

① 合併時に市長職務執行者の専決処分により、即時制定し、施行させる必要があるもの

② 合併後、一定の地域に暫定的に施行させる必要があるもの

③ 合併後、逐次制定し、施

行させるもの

#### ■電算の管理運営

電算システム統合の調整方針が次のとおり決定されました。

新市発足と同時に、市政運営や市民生活に支障なく電算処理を行うことを目標に、市民生活に密接に関連した業務を優先しながら、段階的な統合を図る。

#### 《委員からの主な意見等》

Q・電算の統合が、期日までに間に合わないのではないか。

A・合併時に必要なシステム、合併後に対応しても可能なシステムに分類し、新市発足時に支障がないよう、段階的に統合を図っていく。

Q・電算の統合作業において、個人情報を守られるのか。

A・職員には、地方公務員法の守秘義務の適用があり、業者とは、契約の条項に守秘義務の規定を設ける。

Q・合併協議と同時に合併準備作業を行うことは、問題ではないか。

A・合併先例市においても、合併協議と同時に合併準備作業を行っている。また、国においても合併準備補助金制度などを設け、合併協議の段階から合併準備に対する支援を行っている。

## 第2回 合併協議会

2002.6.22

### 議 案

合併協定項目の8議案について協議調整が行われ、原案どおり決定されました。「地域審議会」については、合併前の2市2町の区域ごとにそれぞれ設置することとなりました。

#### ■議会議員の定数及び任期の取扱い

2市2町の議会の議員は、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号）第7条第1項第1号の規定を適用し、合併後2年間引き続き新市の議会の議員として在任する。

#### ■農業委員会委員の定数及び任期等の取扱い

2市2町の農業委員会は、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第34条第1項の規定を適用し、平成17年7月19日まで新市の農業委員会として存続する。その後、1つに統合し選挙区を設けることとする。

が、選挙区の数及び各選挙区の定数については、新市において調整する。

#### ■一般職の職員の身分の取扱い

合併前の徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町の一般職の職員は、すべて新市の職員として引き継ぐ。

#### ■特別職の職員の身分の取扱い

(1) 2市2町の常勤の特別職等の職員の身分の取扱いについて、市長・町長であった者は、合併後2年以内の間引き続き新市の特別職の職員とする。

(2) 2市2町の行政委員会委員等の身分の取扱いについては、法令の規定によるものとし、規定のない場合は、新市において新たに選任する。

#### ■公共的団体等の取扱い

公共的団体等については、新市の速やかな一体性を確立するため、各団体の実情を尊重しながら調整に努めるものとする。

#### 《委員からの主な意見等》

● 統合までの期限を定めたらどうか。

● 各団体の成立過程は千差万別で、期日は決められないのではないか。

● 各団体の自主性に任せるべきである。



- （設置期間）
- 平成15年4月21日から平成25年3月31日までとする。
- （所掌事務）
- 新市の長の諮問に応じて、次の事項を審議し、答申する。
  - ・ 新市建設計画の変更に関する事項
  - ・ 新市建設計画の進捗状況に関する事項
  - ・ 新市の基本構想の作成及び変更に関する事項
  - ・ その他新市の長が必要と認める事項
- 必要と認める事項について審議し、新市の長に意見を述べる。
- （組織）
- 委員は、当該区域に住所を有する者で、15名以内で組織する。
- 公共的団体等を代表する者、学識経験者、公募による者のうちから、新市の長が任命する。
- （任期）
- 委員の任期は、2年とし、再任は妨げないものとする。
- （会長及び副会長）
- 委員の互選によって定める。
- （会議）
- 新市の長が招集する。また、委員の4分の1以上の者からの請求があるときは、会議を招集する。
- 会議は、毎年度、開催する。
- 会議は、委員の2分の1以上の者が出席しなければ、開くことができない。
- 会議の議長は、会長が務める。○ 会議は、公開とする。
- 会議の議事は、委員の大半の賛同をもって決定する。

町・字名（類似町名や同一の通称町名（小字名）を含む）は、原則として現行のとおりとする。ただし、同一の町名については、地域住民の意向を尊重し、調整するものとする。

合併前の徳山市、新南陽市、熊毛町及び鹿野町の各区域ごとに、当該区域を対象とする地域審議会を設置する。設置に当たっては、<sup>\*</sup>別紙「地域審議会」の設置に関する協議」のとおいとする。

- (1) 市章、市民憲章、市民歌は、新市において調整する。
- (2) 市の花、木は、新市において調整する。
- (3) 都市宣言は、新市において調整する。

『地域審議会』とは、合併特別法により、合併後も地域住民の声を施策に反映させ、きめ細かな行政サービスを実現させるために、合併前に関係市間の協議により、旧市町の区域を単位として、必要な区域に置くことができる機関で、関係区域に関する事務について、新の長の諮問や必要に応じて意見を述べることができることを任務とします。



第2回合協議会を傍聴された女性4人の方(匿名希望)に、率直な感想をおしやべりしていただきました。Aさん以外は初めての傍聴だそうです。

Aさん…今日はみんな合併協議会に来るかなって少し不安だったんだけど、安心したわ。

**Bさん**…合併協議会に市民が傍聴に行けると知ったときは驚いたな。それに、民間の委員さんがこんなに多くいらっしやるなんて。

Cさん..そうそう、合併協議会の話題は、自分達にとつて将来を左右する身近な話のはずなんだけど、日頃は、新聞やニュースで、情報を知っただけで、遠い世界のように感じてたのよね。

Ｂさん…今回傍聴に行つて、実際にどのような話がされてい  
て、合併によつてどんな風に変  
わるのかなどを知ることが  
できて、合併のことを身近に  
感じる事ができたわ。

Ｃさん…そうね、協議会を傍聴し、臨場感を感じることが出

来たと思う。特に、それぞれの市町の委員さんの前向きな眼差しには、私達も勇気づけられて、応援したい気持ちになったよね。

「徳山」という地名を大切に  
して下さい」というお話があつ  
たこと！私は、「徳山」とい  
う地名にとっても愛着がある  
し。

さん…同意見。まさか徳山以外の議員さんに言っていただけとは思っていなかったけれど、合併後でもお互いを思いやれる暖かい市に期待が持てた気がしたわ。

さん…私が今日一番関心があったのは「慣行の取扱い」。市のシンボルマークは新市民に公募されることが大切だと思ふの。それから、議員の方も各市長・町長も合併後2年間、新市のために力を尽くしていただけないかということ。今の市民・町民にとってはすごく力強いことよね。

さん… まだまだ協議する議案は山積だけれど、平成15年4月まで、もうひと頑張りだ！頑張って欲しいな。

「さん」..最後に合併のPRについて意見が出てたよね。本当

にどうしたらもっと市民に  
関心を持ってもらえるん  
だろう。

Ｂさん…もつともつと、たくさん  
の市民の方たちが協議会を  
傍聴されたら、合併ムードも  
高まるのにね。

Dさん…でも、初めに戻っちゃうけど、なんとなく傍聴って行きたいイメージがあるし、特に女性だったりすると何を着ていこうから始まるでしょ。

**Aさん**…協議会でも今後はもっとつなな服装でとの発言があったね。そういえば、私も、普段着よりはちよつぱり気をつかった洋服を選んでいけるけど。今後はもっと自由に、軽い服装で出かけてみようかな。

Dさん…そう、普段着でどんどん聞ぎに来る人が増えるとい  
いよね。私も今度は誰か誘つてみようかな。

ABCD..皆さん一緒に行きま  
しょう。会場でお待ちしてい  
ます！

事務局…◇皆さん、ありがとうございました。これからよろしくお願いします。

◇協議会の日程等については、合併協議会事務局までお問い合わせください。